

お知らせ

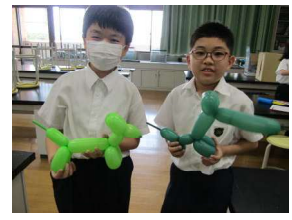
○6月から夏服の期間になります

5月は中間服期間（夏服・冬服どちらでの構わない期間）でしたが、6月からは夏服の期間になります。ネクタイ、リボンは着用しなくてもかまいません。ソックスは白です。長ズボン着用希望の方は、年間を通して着用可能です。よろしくお願いします。

学校の教育活動から

○クラブ活動がスタート！

5月30日（土）に本年度のクラブ活動がスタートしました。4・5・6年生の子ども達が「スポーツ」「ものづくり」「科学」「将棋・ボードゲーム」のそれぞれのクラブに分かれて活動します。これから、子ども達の興味・関心に応じた楽しい活動が行われていくことでしょう。



感じたことから

○失敗の“体験”を“経験”として

車で出勤する際に、公立小学校の子ども達が登校している場面をよく目にします。車の往来が激しい場所においては、地域の方々が横断旗をもって子ども達を安全に通学させている様子が見られます。最近、登下校中の小学生が、車の危険な運転に巻き込まれ犠牲になってしまった事例が頻繁に報道されていることから考えると、このような地域の方々の見守りは大変ありがたいものだと感じます。



ただ、その中で、少し気になるのが子ども達は地域の方の合図に従って道路を横断し、児童自身の左右確認が十分出来ていないのではないかということです。命にかかわることなので、大人の目線でしっかり確認し、命を守ってあげることは大変素晴らしいのですが、子ども達は自分の身を大人に委ねて、自身の判断を怠ってしまっていないだろうか、と思うことがあります。地域の方々がいらっしゃらないときは、子ども達が左右の確認もしないまま飛び出してくるのではないかとちょっとドキドキしてしまいます。

私たち大人は、何かにつけて子ども達に失敗や挫折を経験させないように、優しく手を差し伸べ、笑顔をたえさせないようにしがちです。しかし、それではいざというとき、誰かに頼らなければ判断できない子どもにしてしまっているのではないかと心配になることがあります。

時と場合にもよるのですが、余り先回りせず、子どもの様子を静観しながら失敗する様子を冷静に見守り、その失敗した“体験（単なる行動）”を自分の役に立つ“経験（学びや知識を得る行動）”として高める促しをしてあげることも大切なことでしょう。



また、失敗を回避させた順風満帆な生活をしている子は、相当な年齢に達した時に突然挫折してしまうと、心がポッキリと折れてしまうこともよくあるようです。早いうちに挫折や失敗を“経験”として味わうことは長い人生においてプラスになることでしょう。今、お子様が何らかの壁にぶつかって戸惑われている様子が見られているかもしれませんが、その様子をしっかりと見守り、心を支えていただいていることは、きっとこれからのお子様の人生にとって貴重な“経験”として人生の糧になることでしょう。

地域の登校の様子から、ちょっと飛躍したことを考えてしまいましたが、保護者の皆様のお考えの契機となれば幸いです。